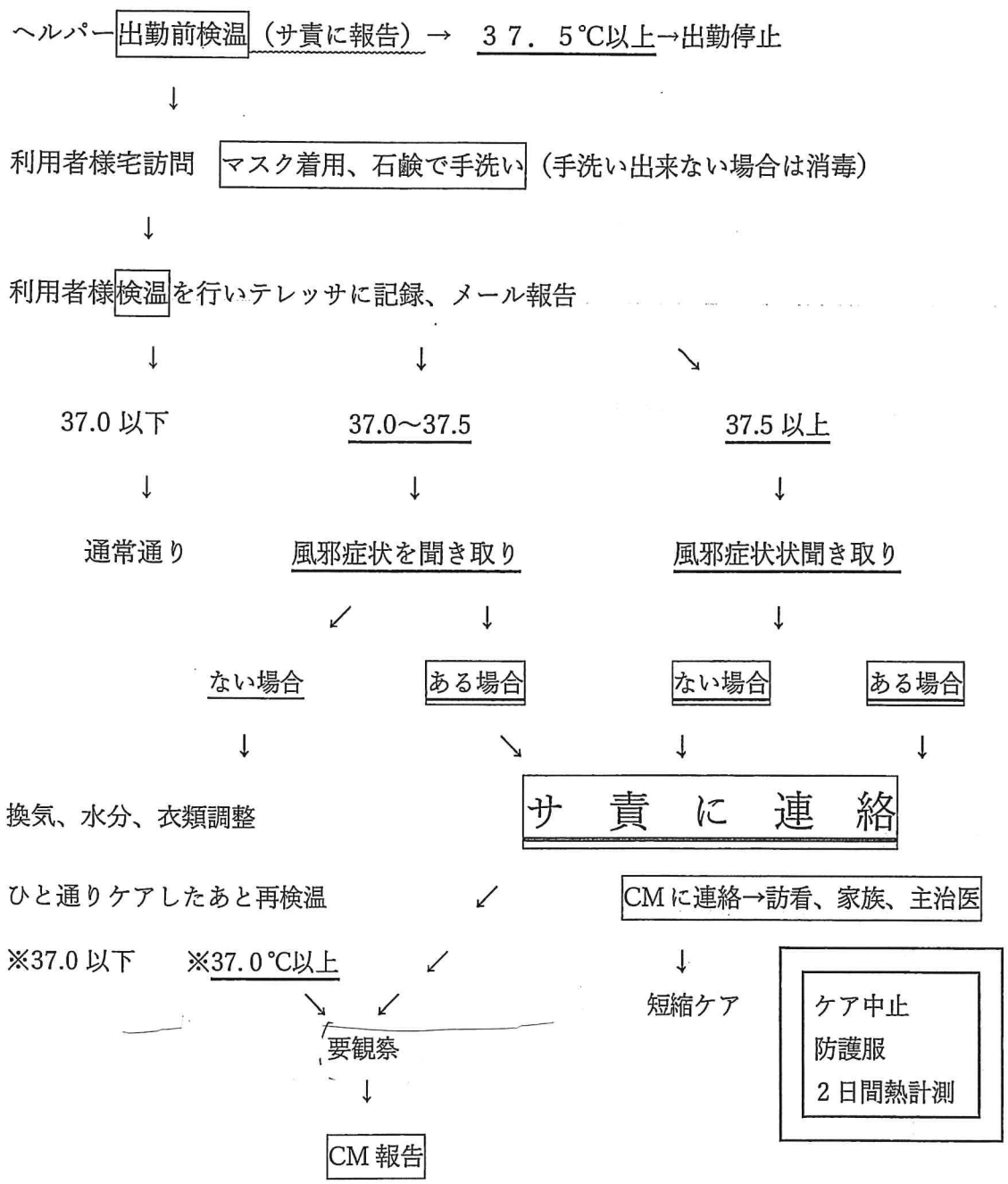


# ヘルパー訪問時の対応方法

令和2年3月30日



入室時 → ガウン、キャップ、ゴーグル、マスク2枚、ゴム手2枚装着。

脱ぐ場合 → 汚染側を内にして丸めてゴム手、マスクと一緒にビニール袋に入れ利用者宅で処分して、必ず手指消毒をする事。

※防護服 = 濃厚感染者ではない

買物代行 → 会社が立替え、可能なら署名頂き、ゆうちょ

# 発熱後のフローチャート

令和2年3月30日

## <生活の場合>

発熱1日目	(対応者) 家族	(対応文) 社員
(朝夕検温)	家族←CMが電話で聞き取り	(朝夕検温) CMと確認する
		(サービス内容)
		買物代行のみ実施
		(通院介助)
		通院しない方法を考える



平熱1日目	(接触なし、短縮ケア)
2日目	( " )
3日目	( " )
4日目	( " )
5日目	( " )
6日目	( 通常ケア )

## <身体の場合>

発熱1日目	(対応者) 家族	(対応者) 社員
(朝夕検温)	家族←CMが電話で聞き取り	(朝夕検温) CMと相談する
		(サービス内容)
		オムツ交換、パウチ処理
		畜尿バック等の尿破棄
		水分、食事、服薬のみ実施
		(通院介助)
		通院しない方法を考える
平熱1日目~5日目		短縮ケア
平熱6日目		通常ケア

### 37. 5℃以上で風邪症状があっても援助が必要な場合

- ① オムツ交換、水分・食事介助等の身体介護
  - ② 調理の場合
    - ・総菜やお弁当を購入させて頂き、終了後退室
  - ③ 掃除、洗濯の場合
    - ・買い物が必要な場合、買物代行に変更（簡易食、総菜、弁当など）
    - ・買い物が無い場合、サービスを中止する。
- ※入室をしないような援助方法に切り替える。  
※入室時は、玄関内にてガウン着用する

### 風邪の症状聞き取り項目

主な症状

- 胸部のしんどさ、だるさ
- 全体の倦怠感
- のどの痛み、
- 咳
- 痰
- 普段と違うしんどさ

### 通院対応

利用者もヘルパーも長時間病院に留まらない方法を考える

（例）薬取りの場合、処方箋をすぐ貰えるよう要請する

薬局にファックスを送ってもらう

通常より多めにくすりを出してもらう

利用者が受診しないといけない場合でも、行かなくてよい方法を考える

往診に切り替えてもらう

家族に対応してもらう